

1頁 総会開催報告／ごあいさつ
 2～5頁 平成30年度 現役生の活躍
 6頁 日立一高活動状況
 7頁 大学入試結果
 8～10頁 同窓会支部だより
 11～13頁 同窓生活躍・近況
 14～15頁 同窓活動OB会活動報告
 16頁 同窓会等開催役員報告
 17頁 平成30年度白聖会役員
 18頁 同窓会等一覧／事務局日誌
 19頁 同窓会等／物故者
 20頁 今年度の活動予定／購読協賛金

白聖

【発行】日立一高同窓会白聖会
 【編集】井上 清
 【事務局】〒317-0063 日立市若葉町3-15-1
 日立第一高校内
 TEL：0294-22-6488
 HP：http://hitachi-hakua.jp
 E-mail：info@hitachi-hakua.jp



母校を愛する仲間と交流し
 現役世代への支援を広げよう

平成30年10月28日(日) ホテル天地閣に於いて、同窓会白聖会の理事会・総会を開催しました。続けて懇親会も開催しました。当日は50名超の参加があり、美味しいお食事をいただきながら、和やかな雰囲気の中で同窓生同士の交流が行われました。会場内には、地学部の研究発表のポスターや、日立一高卒業生が特集された毎日新聞の拡大コピー版などを展示し、同窓生の活躍ぶりを伝えました(新聞記事は、本誌15ページにも一部掲載しております)。

日立一高同窓会白聖会 会長
井上 清

日立第一高等学校 校長
村田 一弘



同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会の目的である「会員相互の連携親睦・母校の発展」の達成のため、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

私は、去る3月1日に挙行されました「平成」最後の卒業証書授与式に出席し、附属中学校の2期生も含め237名の卒業生の皆さんに同窓会を代表して、卒業のお祝いと同窓会「白聖会」への入会の歓迎の言葉を賜りました。

平成24年に附属中学校が開校され中高一貫教育が始まり、その第1期生も含めた昨年の卒業生からは、難関校も含め国公立大学へ多くの合格者があり、進学での立派な実績を上げられました。今年度の237名の卒業生からも、さらに素晴らしい報告が開けるものと思っております。

また、運動部ではラグビー部が、平成30年度県高等学校ラグビーフットボール大会新人大会で優勝は逃したものの28年ぶりの決勝進出を果たし、続く第19回関東新人大会への出場は、県内の公立高校では初めてという結果を残して頂きました。引き続き練習に励み更なる活躍を願っております。

母校日立一高は、中高一貫教育としての附属中の開設やサイエンス科の設置、そして今般県内の県立高校等5校のうちの1校として医学コースが設置されるなど、創立100周年に向けた歩みを進めている中で、文武両道の伝統を守りつつ、時代の変化やグローバル社会に対応し発展し続けています。

同窓会白聖会としては、更なる母校の発展のため、そして未来輝く後輩の皆さんへの支援と協力を続けていきたいと思っております。また、同窓会の動向に加えて、在校生の活躍なども「会報白聖」や同窓会ホームページなどでお伝えしてまいりますので、会員の皆様方には引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝とご活躍、そして母校日立一高のますますの発展をお祈り申し上げあいさつとさせていただきます。



白聖会の皆様には、日頃より、日立一高・附属中学校の活動にご支援いただきありがとうございます。

平成30年度には、まず、白聖祭がありまして、ホームカミングデイを機に、多くのOBの方々にも母校を訪問していただきました。また、生徒のキャリア教育の一環として、ホームルームセミナーを実施しているところではありますが、このセミナーにも多くの先輩方が講師として参加していただき、非常に熱のこもった講演をしていただきました。生徒達にもその思いが良く伝わったように思います。今後とも、先輩方には、現役の生徒と直接かかわっていただき、叱咤激励して頂ければありがたいと思っております。

白聖会から支援をいただいているアメリカのサイエンスセミナーとイギリスの海外研修におきましても、生徒がこれまで以上に素晴らしい成果を上げることができました。日立一高生の英語は相当高いレベルにありますが、参加した生徒はさらに高いレベルを目指して頑張りたいと、帰国後意欲的に学業に取り組んでおります。アメリカ西海岸のサイエンスセミナーについては、平成31年度から、ベトナム海外研修に姿を変え、サイエンス科の生徒全員が参加できるようにいたしました。

部活動につきましては、卓球部、水泳部、陸上部、ソフトテニス部、ラグビー部、美術部、写真部、地学部、英語部などが、関東大会や全国大会に出場しました。特に、ラグビー部が県大会の決勝に進出するのは28年ぶり、陸上部の関東駅伝大会に男女両方のチームが出場するのは初めての事です。

この原稿を書いている段階では、平成31年3月卒業生の大学の進学状況はまだわかっていませんが、最後まで頑張ってくれるものと信じております。学業はもちろん大事ですが、部活動で培われる「やり抜く力」はどのような時代でも必要なものだと考えております。同窓会の皆様方には、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

平成30年度 現役生の活躍

アメリカサイエンスセミナー

高校2年 高橋 杏奈

アメリカサイエンスセミナーは、私にとって大変貴重な体験となった。

まず、加速器研究所では日本人の研究員の方とお話し、世界で活躍することに改めて興味を持った。話を聞いている中で事前に筑波で学んだことも役に立ったと思う。加速器は基礎科学研究に加え、癌治療や新素材開発に使われている。実用的で広い分野から注目されている加速器を実際に見学して、その精密さはもちろんのこと何より規模に圧倒され、科学研究に関心がある私にとって良い刺激になったことは間違いない。

また、天文学について英語で学んだ。講話の最中にわからない英単語が出てくると、英語で補足説明をしてもらい、意味を想像することが度々あった。普段は辞書で短絡的に済ませてしまうが、定義から学び自分で日本語での意味を考えることで身につけやすかったように思う。さらに、講話も話を聞くだけでなく、様々な課題をグループでこなす形式で楽しみながら参加できた。

そしてこのセミナーの醍醐味だと思うのが、コミュニケーションにおいて生の英語に触れたことである。生活の中の英語というのは授業での英語とは異なる。

最も驚いたのがエレベーター内で会話を交わしたことだ。日本ではお互いに居合わせてもあまり干渉しないので、そういった他国の文化に触れるということも実際に海外に行かないとわからないと感じた。

このセミナーで、研究に関することのみならず、文化の多様性を肌で感じることができた。この経験をもとに将来は世界で活躍できることを目指していきたい。

第16回 イギリス海外研修について

高校2年 小川 優希

この研修への参加を迷わず決めたことは、今でも鮮明に覚えています。

キューガーデン、グリニッジ天文台、ドーバー海峡、ロイヤル・ラッセル校、一生忘れられない思い出や、「初めて」に囲まれた私は、この時ほどスマホのカメラの有能さに感謝したことはありませんでした。また、3日間のホームステイを通して、日本とイギリスの文化の違いやイギリス特有の風習やマナーなどを学び、さらに海外に興味を持つきっかけになりました。

この研修のために私自身を支えて下さった友人や先生方、そして家族にすべての感謝を込めたいと思います。

(※PTA会報より転載)

第16回 イギリス海外研修報告

平成30年度引率教員 鈴木 寛明

イギリス海外研修の主目的は、ロイヤルラッセルスクールにおける模擬国連の参加です。

模擬国連とは、日本代表として世界の諸問題に対する解決策を提案し、他国の代表と討議するというものです。今回は、希望者12名(高校1年生8名、2年生4名)での参加となりました。

討議を含めた会話は全て英語を用いるため、渡航前の準備段階から相当の努力を必要とします。難しい挑戦でしたが、生徒達は討議中自ら質問をするなど積極的な姿勢で臨み、自分たちで考えた決議案を委員会で可決させる活躍を見せてくれました。

参加した生徒は、今回の研修で得た経験を自分たちの勉強の糧とするだけでなく、報告会を全校生徒に行ったり、報告書を作成したりすることで学校全体に還元する活動を行っています。英語に関するだけでなく、彼らの「挑戦する心」が全校生徒に伝わることを願っています。

陸上部 男・女ともに 駅伝関東大会出場!



陸上部 駅伝男子チーム



陸上部 駅伝女子チーム

駅伝男子 関東駅伝大会に参加して

高校2年 菊地 陸斗

入部してすぐみんなで目指そうと決意したのがこの関東駅伝大会でした。決してエースのいないチームに必要なのは総合力。練習では常に全員が襷をつけ、駅伝に対する意識をチーム全体で高めていきました。そういう日々の努力を積み重ねて、掴んだチャンス、後悔のないよう万全の準備をして臨みました。

いざ会場に着くとインターハイに出場した選手がたくさんいて、とてもワクワクしました。「強い選手と走れる、絶対にくらいついてやるぞ。」そういう思いが自然と湧いてきました。そして当日、私は2区を任せられ、同じ区間には日本高校記録を持つ選手もいました。結果として個人では自己ベストを出せなかったけれど、チームとしては県大会よりもタイムを2分以上縮めることができました。最後は全員が笑顔で大会を終えることができました。

今回の大会で私は十分に力を発揮できず、悔しい思いをしました。今度は個人として関東大会に出場するために、この悔しさをバネにして頑張っていきたいです。

駅伝女子 関東駅伝大会に参加して

高校2年 小泉 薫

私陸上競技部女子長距離は、今回創部以来初の関東駅伝大会に出場することができました。チームで掲げてきた目標を達成することができ、本当にうれしかったです。

私達の中には高校に入ってから個人種目で関東大会に出場した選手はいませんが、一人一人が1秒を削り出す努力をすることで上の大会に進むことができました。私は今回の大会を通して、一人の小さな頑張りが必要な結果につながる駅伝という競技の良さを改めて感じ、より一層陸上競技が好きになりました。今大会での嬉しさを忘れず、個人でも関東に進めるよう練習に励みたいです。

また、私達は多くの人の支えのおかげで関東大会出場を決めることができました。顧問の藤沢先生をはじめ、昨年まで指導してくださった奈身先生や他にもたくさんの方々がご指導、応援して下さいましたことに感謝したいです。また、忙しい中私たちのことを気にかけて応援してくださった先輩方や、生活を支えてくれた親にも感謝したいです。今回の結果がたくさんの方の支えの上に成り立っていることを忘れず、これからも結果で恩返しができるよう精進していきたいです。

陸上部 関東選抜新人陸上 円盤投げ 第3位

高校2年 小嶋 ひより

私は、第22回関東選抜新人陸上競技選手権大会に女子円盤投げで出場し、3位という結果で、関東大会入賞という目標を達成することができました。

当日は、あまり緊張せず、リラックスして本番を迎えられました。1投目、2投目でファールをしてしまい、頭が真っ白になってしまいましたが、「おもいきり投げろ」という先生の言葉を聞いて、今までの練習の成果を全て出し切ろうと切り替えられました。そして3投目は、自己ベストを出して、2位で予選通過できました。決勝では6投目で自己ベストを更新できました。

この大会を通して、メンタルが強くなった反面、試合展開が悪く、たくさんの課題が見つかりました。

これから冬季練習に入り、体作りの練習の回数が増えるので、しっかり鍛え直して、来春ではインターハイ出場を目指し、また国体が茨城開催なので、目標は高く出場を目指していきたいです。

陸上部 関東選抜新人陸上 男子3000mSC 第5位

高校2年 白石 達也

自分は、10月20日・21日に行われた関東選抜新人陸上で5位入賞を果たすことができました。

予選ではプラン通りにレースを進めることができましたが、足が合わなかったり、ハードルで躓いたりして、最後に失速してしまい、着順で残ることができず、タイムで拾われるという危ないレースとなってしまいました。決勝を走れることになって、予選と同じように走ったのでは失敗してしまうかもしれない、と少し不安もありましたが、自分のスタイルを貫き通すことができ、最後まで他県の代表選手と戦い抜くことができました。

慣れない環境で、そして関東大会という舞台で勝負ができたことは、自分にとってもよい経験となりました。来年、自分は最後の総体を迎えますが、再び同じ舞台に立って勝負することができるよう、これからも練習に励んでいきたいです。

(※ SC…… Steeplechaseの略。障害競走。)

陸上部 個人の部 関東大会出場!



円盤投げ 第3位 小嶋 ひよりさん



男子 3000m SC 第5位 白石 達也さん

アメリカサイエンスセミナー (サイエンス科)



語学研修だけではなく、スタンフォード大学やカリフォルニア大学バークレー校での研修、ローレンス・バークレー国立研究所などでの最先端科学研修や現地研究者との交流会など、様々なプログラムを行いました。

イギリス海外研修 (1・2年生有志)



平成30年10月15日(月)～26日(金)の12日間滞在。参加は生徒12名(1年次8名・2年次4名)+引率教諭2名。積み重ねてきた事前研修の成果も実り、模擬国連会議では自分たちの決議案を委員会で可決しました。

附属中吹奏楽部 東関東大会 B 部門 銀賞!

演奏曲:「写楽」(作曲:高橋 伸哉)



体育館での壮行会の様子

附属中吹奏楽部 東関東大会に出場して

中学3年 三村 果蓮

私達は9月22日に栃木県宇都宮市民文化会館で行われた「第24回東関東吹奏楽コンクール」に出場しました。

この東関東大会に出場するまで、大変なことがたくさんありました。そのひとつが私達の附属中は創立7年目であり、東関東大会出場という前例がなかったことです。

約1年、東関東大会出場という目標を掲げて日々練習に励んできましたが、どのような練習をすれば目標を達成できるのかを考えて練習することはとても大変でした。

また、不安になることもたくさんありました。しかし、目標を達成することができたのは、指導して下さった先生方のおかげです。本当に感謝しています。

東関東大会のステージから見た景色はとてもきれいで、今まで頑張ってきたことが心から思いました。

私が吹奏楽部で過ごした3年間は一生の思い出です。また、後輩達にも、私達と同じように悔いのない部活生活を送って欲しいです。

卓球部 個人 全国大会出場!



吉岡 美歌さん

写真部 関東写真展に参加して

高校1年 松廣 あい子

私は写真と撮ることである素晴らしい「瞬間」を記録して、多くの人と喜びや感動を共有できるということにたまたま魅力を感じ、高校に入ってからカメラをはじめました。

初めはなかなか思うような写真を撮ることも出来ませんでした。使っていくうちに徐々に写真の面白さに引き込まれていきました。

今回出展した作品は学校近くの動物園で撮った何十枚もの写真のうち、たまたまリスザルの笑っているような表情を記録することができたものでした。関東地区写真展への知らせを聞いた時はとても驚きましたが、自分の撮った写真が誰かの目に留まったということに対してとても嬉しく思いました。

しかし実際に写真展を訪れてみると、同年代の人が撮ったとは思えないほど生き生きとした素晴らしい写真が溢れており、感動すると同時にとても刺激を受けました。私もこれからより研鑽を積み、素敵な瞬間を一枚でも多く記録していきたいです。

卓球部 全国高校選抜卓球大会に 出場して

高校1年 吉岡 美歌

私は、3月末に福岡県で行われた全国高校選抜卓球大会に出場しました。初日の練習から、周りが上手い人ばかりでとても緊張しました。しかし、練習の時に部長から励ましの言葉やアドバイスなどもらったことで、少し緊張を和らげることができました。試合では、緊張で固くなってしまったところがあったものの、自分ができることはやりきれたと思います。そして、この大会に出れたことは、一緒に練習している部員、指導して下さる先生、また親のおかげであるので感謝の気持ちを忘れたいと思います。

また、私はこの大会で課題も多く見つけました。特に、もっと自信を持ってプレーできるようにしたいと強く思いました。自信が持てれば、プレーにも表れると思います。全国の選手の多くが堂々とプレーしていてかっこよく、自分もこのくらい自信を持てるようにしようと思いました。だからこそ、これからも自信をつけられるようにより練習を頑張り、また部員と一緒に高い目標を持って練習に取り組みたいと思います。

写真部 関東写真展 出展!



第25回関東地区
高等学校写真展覧会
出展作品
「くすくす」松廣あい子

定期異動 (教諭関係)

転出・退職

職名	氏名	転出先
校長	村田 一弘	緑岡高校
教頭	町井 秀保	水戸桜ノ牧高校
教諭	山口 壮介	水戸南高校(再任用)
教諭	山内 一憲	退職
教諭	竹内 正子	水戸南高校
教諭	梶山 郁子	佐竹高校
教諭	堀 勝司	水戸第二高校
教諭	笹沼 典人	高校教育課
教諭	大貫 啓太	日立一高附属中
教諭	大内 吉晴	水戸第一高校
教諭	菊池 幸恵	高萩清松高校
教諭	野内 敬之	佐和高校
教諭	入野 寿勝	佐竹高校
教諭	大作 智子	峰山中
主任	菊池 淳	太田第一高校
講師	滝 美加子	日立北高校
教諭	黒澤 啓一	退職
教諭	大津 政美	退職
教諭	有賀 俊司	退職
教諭	神山すみ江	退職

新任

職名	氏名	前任校
校長	梶 清史	大子清流高校
教頭	磯邊 裕一	緑岡高校
教諭	熱海 亮	太田第一高校
教諭	長久保 毅	新規採用
教諭	上田 浩史	太田第二高校(再任用)
教諭	渡邊 洋美	緑岡高校
教諭	富山 啓一	佐竹高校
教諭	山口 信	水戸第一高校
教諭	関根 規夫	佐和高校
教諭	坂本 八穂	日立第二高校
講師	高橋 剛	大洗高校
教諭	大和田 徹	高萩清松高校
教諭	鈴木 賢祐	鉾田農業高校
教諭	佐藤 裕一	日立北高校
教諭	大貫 啓太	日立第一高校
教諭	和田美智子	華川中
主事	桐原 航生	新規採用

小説「ある町の高い煙突」読書感想文等コンクール

小説「ある町の高い煙突」の映画化に合わせ、市民と企業が協働して煙害を克服した日立市の歴史を身近に感じてもらうため、市内中学2年生に小説を配布しコンクールが行われました。コンクールは、感想文・感想画・キャッチコピーの3部門があり、附属中2年の寺崎さんが、感想文505点の中で、**最優秀賞の日立市長賞**を受賞しました。以下に作品を掲載します。



中学2年 寺崎 千尋

共存の街、日立

もし日立で一番素敵なお店と聞かれたら、私は桜と答える。いくつかの工場の隣りを通って通学しているが、毎年開花時期になるといつもの風景が別世界に様変わりする。ここにもと思う程日立には桜があり、花に囲まれていると不思議に優しいものに包まれている気持ちになる。今回この本を読んで、日立に沢山の桜がある理由がよく分かった。安直に植樹したのではなく、人々も工場も共存出来る魅力ある町にしようという願いを込めて行ったことだと知った。

今もきららの里 方面に向かう途中で、大煙突を見ることが出来るが、ここから工場の町が始まったと思うと感慨深いものがある。だがその道のりは苦労の連続だった。経営が順調になった頃から、銅を採掘する際に排出される煙害が人々を苦しめた。肺病を思い亡くなった人や、植物が枯れてしまうために生活が出来なくなり、住み慣れた地を離れた人もいた。例えそこに住み続けていても、周囲の人が病を患っている姿や春になっても葉が育たない様子を日にする度に、当時の人々は不安でたまらなかったことだろう。では安全性を優先して、生活を脅かすものは撤廃すれば良かったのだろうか。先人達が選んだのは共存、共栄だった。

主人公の関根三郎は旧制一高に合格していたにもかかわらず、村に煙害被害の調査にやってきたスウェーデン人技師より煙害被害を知り、進学を断念してまでも煙害のために努力を尽くした。安易に被害を訴えるのではなく、日立より以前に煙害にあった四国などへ行って調べたり、気象庁では日立の風の向き等を調査した。一方鉾山側は多くの従業員を雇っているため、十分な賠償金を支払う等の対応は出来なかったが、神峰煙道やだるま煙突などを作って煙害の軽減をしようとした。また日立には全国でも珍しく市役所内に気象業務部署があるが、会社が鉾山から出る煙の流れを観測するために気象観測所を設置したことに由来するものだった。

そうした沢山の努力によって、1914年に大煙突が完成した。製錬所周辺に垂れ籠めいていた煙が消えていく様子を、人々は感動し深く心に刻みこんだことだろう。一般には被害者は「善」と判断しがちだ。だがもしその考えに固執していたならば、今に至ることは出来なかったと思う。

公害というと足尾銅山の田中正造を思い浮かべる人が多いだろう。だが公害病の被害にあった地域は実際にはとても多く、日立もその内の一つだった。今地球を取り巻く環境は温暖化やオゾン層の破壊等、種々な問題を抱えている。どれも難しい問題ばかりだが、諦めたらそこまでだと今を生きる私達に三郎達が行っている気がする。

私は生まれた時から日立に住んでいるが、日立市民であることを誇りに思う。来年の春は、かつて煙害と闘った人達のことを思いながら日立の山桜を見に行こうと思った。

※ 日立市入道町にあるレクリエーション施設「ある町」の一角

同窓会支部だより

支部だよりは、職域・地域・女性会支部の動向を会員のみなさまにお知らせしているコーナーです。職場やお住まいの近くの支部の活動にぜひご参加ください。各支部の連絡先は18ページに記載してあります。

東海支部（新設）

支部長 鈴木宏文（昭和40年卒）

県央支部東海地区の組織体制・会員数・活動内容が支部のモデルになってきて支部に相応しいとの評価を頂き、平成30年10月28日の白亜会総会において東海支部が承認され、歩みだしました。地区が支部に変わり、役員は2年目を迎えます。よろしくお願いたします。

役員名	氏名	卒年
支部長	鈴木宏文	昭和40年
副支部長	小林一夫	昭和42年
幹事長	照沼昇	昭和46年
事務局長	沢山洋二	昭和41年
監査	高田準一	昭和34年
監査	橋本美晴	昭和46年



日立一高同窓会東海地区総会

平成30年度の活動については、年2回のゴルフ大会・年2回の日帰り温泉・総会の開催を継続開催の予定です。

会員60名の親睦を深めると共に会員の増強に努め、支部の活性化を図ります。



第9回日立一高東海地区ゴルフコンペ



東京支部

幹事長 幸田則夫（昭和44年卒）

東京同窓会総会・懇親会は、例年7月の第1土曜日に開催していましたが、会場の改修工事のため1週間前倒しの開催となりました（平成30年6月30日）。

昨年同様、総会の部、講演会の部、懇親会の部、閉会の部と4部構成でした。総会司会は園部直哉副幹事長でした。

総会の部は、深田よし子副会長の開会の言葉から始まり、校歌合唱、逝去者に対する黙祷、荒川会長の主催者挨拶、東京同窓会の役員紹介、来賓紹介と続きました。

来賓として、日立一高校長・村田一弘様、茨城県営業戦略部東京渉外局局長・矢口和弘様、東京渉外局行政課課長補佐・菊地敦志様、水戸一高東京知道会幹事長・石井健司様、日立一高同窓会常務理事事務局長・椎名敦史様にご参加いただきました。活動報告、会計報告、監査報告と続いて終了しました。

講演会の部は、「日立一高チャレンジ100周年に向けて」と題して、村田校長にご講演いただきました。中学校、高校の現状、中高一貫校としての成果等頼もしい限りのお話がありました。

懇親会の部では、今年で3回目となりますが、懇親会の途中で、学年別のテーブルから卒業中学別に移動し、中学校時代の顔ぶれでの懇談も楽しみました。

今回の年長者である皆川彰様（昭和27年卒）による「乾杯」の後、シンガーソングライター高見澤淳子様（平成4年卒）による「上を向いて歩こう」の歌唱と演奏が流れ、懇談に突入し、「喜寿（昭和35年卒）」、「古希（昭和42年卒）」、「還暦（昭和52年卒）」、最年長者、日立地区参加者が全員登壇し、代表挨拶をいただきました。

毎回大好評の「大抽選会」は、今回も柴田明俊会務幹事（昭和62年卒）が進行役を務めました。深谷様（昭和29年卒）、澤田様（昭和39年卒）、水戸ホーリーホック山中様からの商品の特別提供もあり、今年も最後まで大いに盛り上がりしました。

玉木崇之副会長の閉会の言葉にて閉会となりました。

国分支部

支部長 江間辰雄（昭和57年卒）

2018年度の国分支部総会は、日立製作所国分地区、日立産機システム勝田地区の現役「白亜会」から10名、卒業生「軒昂会」から2名の参加を戴き11月30日、ひたちなか市磯崎の丸徳旅館にて1泊して開催された。新鮮な磯料理、地酒を堪能しながら、宴会、部屋での親睦を通じて、同窓としての絆を深めた。



低電圧（6kv以下）の配電盤部門が国分地区から勝田地区に移動したが、勝田地区のメンバーも含めて国分支部として活動しています。

近年は60歳定年者が不在で、定年者を卒業式してお祝いする恒例となっているバス旅行が開催されておりませんが、来年度は卒業生が予定されており、本人の希望を募り1泊2日のバス旅行を計画することで合意を得た。今後も同窓との絆を重視して活動していくことを確かめ合いました。

また卒業生による軒昂会は毎年2回の定例会を実施しており、昨年7月、12月に河原子町「東洋館」にて開催した。軒昂会のモットーは「活き活きと健やかゆったり人生」であり、7月、第34回目の定例会では、白亜会から1名（江間）参加し、合計24名の先輩方が参加され絆を深めた。



恒例となった平野公（たかし）先輩の創作工房作品を抽選で全員に振り、参加者は作品と共に笑顔で写真撮影となった。健康、趣味の話題が主となり、いつまでも変わらない先輩、後輩の間柄で楽しい時間を過ごすことが出来た。

最後になりますが、日立一高、附属中学校の益々の発展と同窓会各位のご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。



常北支部

支部長 中根 教文（昭和29年卒）



日立一高同窓会常北支部の平成30年度総会は、7月22日（日）五浦観光ホテル別館大観荘に於いて、26人の出席を頂き開催しました。

議事は、平成29年度の事業報告並びに収支決算と平成30年度事業について、いずれも全会一致で承認されました。

また、総会終了後、同会場で磯原支部と懇親会が開催されました。

ご来賓の同窓会本部副会長宇佐美泰男様からは、創立90周年記念事業の海外研修費として1000万円を送った報告、今後は100周年記念事業の企画に入る時期であり多大な寄付をお願いすることもあるため、更にご協力をお願いしたい旨の挨拶がありました。ご歓談いただきながら和気あいあいの中、信仰を深め盛会のうちに閉会しました。

9月23日（日）予定の常北支部、磯原支部と高萩支部の親善ゴルフコンペは、台風により中止になりましたが、さらに地域間交流を図りながら和を広げて参りたいと存じます。

最後になりましたが、母校の益々のご発展と同窓生各位のご健勝を心からご祈念申し上げます。

県央支部

支部長 森嶋 宏（昭和34年卒）

平成30年度県央支部総会は、11月17日（土）テラス・ザ・ガーデン水戸にて、井上清同窓会会長のご臨席のもと開催されました。

総会では支部長挨拶、井上会長のご挨拶後議事に入り、小野事務局長より活動報告等の説明があり全会一致で可決承認されました。

続いての懇親会では、三代副支部長の司会で参加者の近況報告やムード音楽演奏を聴きながら、和やかに会員相互の親睦を図ることが出来ました。

ひたちなか支部

支部長 清水 正建（昭和55年卒）

平成30年度もひたちなか支部はたくさんさんの活動をしました。

4月14日に総会・懇親会を開催し、事業報告、決算報告、事業計画、予算などを承認して平成30年度が始まりました。

5月6日、第25回日立一高同窓会チャリティゴルフ大会の実施。このチャリティの一部は同窓会の本部に寄付をいたしました。

6月16日、ファミリーバーベキュー大会を阿字ヶ浦海岸で開催いたしました。7月1日、親睦ゴルフ大会を行いました。

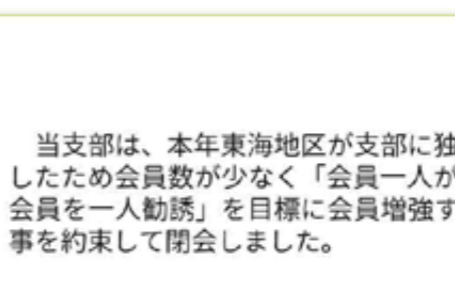
8月4日には、日立一高の清掃を、ボランティア活動として行いました。



11月26日には、日帰りバスツアーにメンバーを募って参加しました。

平成31年1月19日、親睦ゴルフ大会の実施、その夜は新年会を盛大に行いました。

その他に、毎月1回の理事会の開催、年間12回の開催をしています。現在約60名の会員がおります。これからも支部会を盛り上げるために頑張ります。



井上会長にはお忙しいところありがとうございました。



日立市役所支部

支部長 岡部 和彦（昭和51年卒）

日立一高同窓会日立市役所支部は、平成31年1月1日現在、339人の会員がいます。

支部の活動は、退職者送別会と新会員歓迎会を兼ねて総会を開催しており、平成30年度は、会員約80人が参加しました。

総会の内容は、冒頭の支部長あいさつ後、小川春樹日立市長、井上清同窓会会長、村田一弘日立一高校長先生からご祝辞をいただきました。

そのあと、歓談を交えた後、退職者のスピーチと記念品・花束の贈呈、新会員による自己紹介スピーチと進行し、最後は、「校歌斉唱」と「三本締め」で締めくくりました。

今後も、支部会員一丸となり、同窓会の活性化を通じた母校への支援、そして市政発展に努めてまいります。

女性会

女性会 会長 野口 不二子（昭和37年卒）

平成30年6月2日、女性会の総会が天地間に於いて、50名余という同窓生が集い和やかに旧知を分け合いました。



アトラクションでは、ブメハナフラ代表取締役 小又千賀子さん（昭和48年卒）が、華やかにフラダンスのご披露をいただき感動でした。

今年は改元が行われ新たな時代に何が待ち受けるのでしょうか。社会はすべてのものがインターネットにつながるIoTや人工知能（AI）がやってくれる新しい時代に向かっています。

日本人の持つ力や価値観は、勤勉さや、集団を重んじる姿勢、物を大切にすると、ソフトパワーが大切に尊重されてきました。

しかし世界的な革新や改革の速度に日本的な「人財育成」が通用しなくなったのではないかと。いつの時代であっても変わらないものがあって良いはず。夢と希望を持って自分の力を信じて「人間力」を養って前進してください。

日立支部

支部長 椎名 敦史 (昭和48年卒)

日立支部は、平成29年度支部総会を平成30年5月8日に助川交流センターで開催しました。当日は、石川昭政衆議員の参加のもと支部会員19名で開催しました。

平成29年度の活動報告、会計報告をし、参加者全員をもって承認頂きました。今回は、100周年記念事業の協力依頼及び石川さんの国会の現状についてお話をいただきました。

昨年は、ホームカミングデー(白壁祭)に合わせて支部総会を日立一高教室で開催したため懇親会ができなかったが、今回は久しぶりのこともあり盛況の中終了しました。



多賀支部

支部長 橋政一 (昭和42年卒)

当支部総会は昨年同様8月25日多賀駅近くの中華料理店中日軒で出席者23名にて開催しました。

最初に井上全夫前支部長の急死報告をした後参加者全員で黙とうを行いました。そして新役員体制については、昭和42年卒業の支部長・橋政一、副支部長・江尻行信、副支部長・中島雄一が選任されました。微力ではありますが支部運営に努力してまいります。

そして議事に入り、事業報告、会計報告を行い参加者全員をもって承認されました。その後白壁会会長であります井上清さんより日立一高創立90周年記念事業のお話そして、石川昭政さんより国会の現状についてのお話をいただきました。

終了後、瀬谷幸伸さんの乾杯の発声によりお楽しみの懇親会に入り終始「飲む、食べる、しゃべる」で盛り上がり賑やかな2時間が経過し盛況のなか終了しました。

また多賀支部には「お茶飲み会」の懇親会がありこちらは年2~3回開催しています。現在佐藤克さんはじめ2名の幹事により毎回20名前後の方々の集まりにより親睦を深めているところです。

今後の課題として高齢化に伴い支部総会及びお茶飲み会とも出席者が年々減る傾向にあり会員を募っていかねばと感じているところです。

豊浦・日高支部

支部長 森嶋 鎮一郎 (昭和38年卒)

9月6日(木)未明に震度7の激震に見舞われた北海道南西地震が報じられた当日、18時から26名が出席し、当支部の平成30年度総会が、日立金属日高クラブで行われました。



来賓の椎名敦史常務理事から、母校や在校生の様子を知らせるため、「白壁」を従来の冊子から新聞に変更し、2万2000人の同窓生に送付している。購読協賛金として、水戸一高、太田一高は7%の協力があるが、本校は2.8%に過ぎない。生徒支援のため他の同窓生にも声を掛け、支援の輪を広げてほしい。総会では100周年に向けて意見や要請を求めているのでそちらへの参加もよろしく、との要請がありました。

議事は、議案すべてが全会一致が可決承認されました。

懇親会では、乾杯の後、恒例の自己紹介、近況報告が行われました。

東日本大震災で3メートルの防波堤が築かれ、景観が損なわれた上、「いなさ」(夏に吹く北東の涼しい風)が吹かなくなったと残念がる人。舌出し体操、ボーリング、ゴルフ等で健康管理をしている人、民生委員、自治委員、各種ボランティア活動に参加している人。家業が創業40年、150年を迎える人、日立市の衰退を危惧し、若者を育てる機会を作る必要があると訴える人など、例年のごとく盛り上がり、最後に全員で校歌を斉唱し、エールを切って閉会となりました。

同窓生の活躍・近況

同窓生の情報をお寄せください

日立一高同窓会白壁会では、より広く会員相互の交流を深めるため、卒業生が活躍している情報(大会入賞、新聞掲載など)や、会員に向けての投書などを募集しています。いただいた情報は、会報やホームページを通して、発信していきたいと考えております。自薦他薦は問いません。ぜひ、みなさまの近況をお気軽にお知らせください。

投稿先 〒317-0063 茨城県日立市若葉町3-15-1 日立一高同窓会白壁会 宛 info@hitachi-hakua.jp

キャリアサポート白壁会

廣木 成治 (昭和51年卒)

キャリアサポート白壁会では、卒業生の持つ情報や体験を後輩達のために役立てることを目的にセミナー等での講師候補を同窓会HP等にて随時募集しており、その中から昨年度は、高校が行う1年次ホームルームセミナー講師として起業家、精神保健福祉士及び国家公務員の3名の職業の方に引受けていただきました。

同セミナーで講師の方達は、現在の職業内容やそれを目指したきっかけ、やりがいや後輩達に伝えたい言葉等を熱く語って下さり、それらの話を聴いて後輩達の多くは、自身の生活の中に生かせる場面を見つけようとする共に、将来やりたいことを具体的に考えるきっかけを掴んだようでした。

今回快く引受けていただいた講師の方達からは、後輩達の真剣な表情に大きな刺激を受け良い機会を得た等の声をいただいております。

また、プログラミング教育の支援も引き続き検討しております。2021年には中学校の技術の授業にプログラミングやプログラムを作成して計測・制御を行う授業が入ってきます。

文科省の指導書では、NPO法人など外部のサポートを利用することも一例として示されています。このような支援を可能にするための体制を検討中です。

後輩達の要望に応えるためのキャリアサポート活動にぜひともご協力いただきたく、よろしくお願い致します。

投書 谷 裕之 (昭和20年卒)



前略 同窓会広報誌をお送り頂きありがたく存じます。私は昭和20年3月に卒業したことになる、谷 裕之です(本年91歳になっています)。S18.9.30(?)に退学をし、その翌日から飛行予科練習生として土浦航空隊に入隊しています。それ以後は一度も通学していませんから本来の意味では卒業生だとは言えないのかもしれませんが、私は93式中間練習機(赤とんぼと言われていた)での特攻隊員が選出されて福島県の第2郡山航空隊に集結した1人でした。(中略)

元々私は軍人志望ではなかったのですが、関西に生まれ育っていますから京都の第二高等学校へ行きたくはなかったのですが、戦争の影響で父が徴用逃れに日立の軍曹王場に勤めたのでした。病弱な父は私が日立中学に入って間もなく死亡しました。それが航空隊志願の原因の一つになったのでした。

昭和20年8月下旬 復員して帰ると汽車は駅舎のない焼け野原に停車しました。市街地に家屋は見当たらず道路だけが意外に整然としていました。監視射撃で負傷した祖母はお骨になって空き缶に納まっていた。母と妹弟はかろうじて防空壕に生き残っていました。母校の残骸がひとときわ高くぼつんと見えていました。市役所でガリ版刷りの戦災者証明をもらって私たちは大阪、京都府、兵庫県、広島県などを放浪しました。戦災者証明は役に立ちませんでした。母と弟は栄養失調で死亡しました。小室宣行先生(漢文)が放浪中の私を探り当ててくださって、事務室の生田目先生から手紙が届いたのです。復学願い書が入っていました。それに捺印して送り返すと引き換えに卒業証書をいただけたのでした。生田目先生は卒業証書とともに「これでどこでも受験できる」との言葉を添えてくださっていたのですが金もなく住所も定まらぬ私には進学などは高嶺の花以上に手が届きませんでした。(中略)

日立中学卒業証書のお蔭で助教諭を皮切りに退職まで義務教育に携わりました。学校の宿直家という住み家が定まるまでは、おぐらを変えらること10回を超えました。(中略)

「白壁」5ページの入試の成果、喜ばしく思います。父兄も言っているだろうと思います。娘たちの受験当時は普通の父兄並みにハラハラしていたのです。教職にあっても教え子たちを有名高校へ数多く合格させようと努力しました。予備校の授業方法を参考にしてみたこともあったのです。しかし、心底には疑問が消えなかったのです。(中略)

受験勉強オンリーでは好奇心を壊すと思います。立身出世、金もうけを目標にする現実主義者になりやすいのではないのでしょうか。私はカントをよく知りませんが「純粋理性」とは無垢の好奇心から育つのではないかと思うのです。(間違っているかもしれませんが)

S20年卒業生で生き残っているのは誰でしょう。連絡し合って老人パワーを築かし、世の中、浄化できないものかそんな思いもするこの頃です。懐かしさのあまり、つい駄弁り過ぎました。お許しください。 2018.5.21 省空

きものことならおまかせ下さい

お仕立、お手入れ、染め替え、仕立て直し、ご相談下さい。

余佐藤呉服店

佐藤 雄市郎 (昭和40年卒)

World Famous Fabrics & Couture
世界のカーテン 直輸入

株式会社エース・ジュールームセビア

TEL: 0294-276-5300

代表取締役 中村瑞人 (昭和45年卒)
中村将人 (平成12年卒)

協賛広告募集について

毎年、約20,000部発行している本誌「白壁」に、登録が在籍されている、企業・クラブなどの団体の広告掲載いたします。

広告の内容は、事業の紹介やアピール、人材募集の案内など、会誌を毀損させないものであれば、どのようなものでも構いません。毎様の協賛をお待ちしております。(1刷8,000円、2刷15,000円)

お申し込み・お問い合わせは、同窓会事務局までご連絡下さい。(info@hitachi-hakua.jp)

株式会社 ほけん相談室

三井生命損害保険と提携した専任の相談士です

なんでもご相談ください

0120-63-1071

代表 坂場 美奈 (昭和55年卒)

メガネ コンタクト 補聴器の本格派専門店

メガネの ナリタ

〒317-0065 日立市助川町1-7-13 (株)成田メガネ店
代表取締役 成田 壯太郎 (昭和36年卒)

●本 店 / ☎0294-21-4717(代)
●多 賀 店 / ☎0294-36-0336(代)
●コーカドー日立店 / ☎0294-21-5777(代)

五浦観光ホテル

茨城県北茨城市大津町7-2-2
(北茨城ICより車で約15分)

TEL: 0293-46-1111 FAX: 0293-46-5748
https://www.itsuru.com

村田 幸 (昭和54年卒) 村田 文彦 (昭和55年卒)

創業100年の歴史と伝統 ホテル天地閣

〒317-0074 日立市旭町2-6-13
TEL: 0294-22-0188 FAX: 0294-22-0175
URL: http://www.tenchikaku.co.jp/

毎日新聞で
日立一高卒業生の
特集が連載されました！

毎日新聞朝刊「ぐるっと首都圏」の「母校をたずねる」に、8回にわたって日立一高が特集されました。

これは毎週水曜日、幅広い分野で活躍する各校の卒業生にインタビューする名物企画です。

今後、会報白至では、本年と来年に分け4件ずつ掲載していきたいと思っております。それぞれの青春時代に思いを馳せながら、ぜひお読みください。

- 第1回：昭和61年卒 鎮目英俊さん
- 第2回：平成24年卒 荒木奏美さん
- 第3回：昭和54年卒 吉野俊郎さん
- 第4回：昭和51年卒 和田利弘さん

毎日新聞 2018年8月1日(水)号

お惣菜の
おいしいお店
株式会社 飯村ストアー

ひたちなか市東大島1丁目23番5号
TEL: 029-274-3711 FAX: 029-275-8555

代表取締役 飯村 洋一(昭和50年卒)
飯村 康一(平成15年卒)

造園 設計施工管理
植木 生産販売

株式会社 橋本農園

橋本 美晴(昭和46年卒)
〒319-1105 茨城県那珂郡東海村豊岡466
電話: 029-282-2388
FAX: 029-287-0618
URL: http://www.h-noen.com

Nicorry Design Lab.

にっこりデザインラボ

代表 吉成 美世(平成24年卒)

info@nicorry-design.com
http://nicorry-design.com

ぐるっと首都圏

母校をたずねる

激闘で得た不屈の信条

甲子園初出場エース 鎮目英俊さん 1985年度卒



茨城県立日立一高

「甲子園初出場エース」として、1985年の夏の甲子園大会で活躍した鎮目英俊さん。高校時代から投手として活躍し、大学でも活躍。現在は、茨城県立日立一高の教員として勤務中。

茨城県立日立一高

「甲子園初出場エース」として、1985年の夏の甲子園大会で活躍した鎮目英俊さん。高校時代から投手として活躍し、大学でも活躍。現在は、茨城県立日立一高の教員として勤務中。

古豪健在 伝統の野球部



「甲子園初出場エース」として、1985年の夏の甲子園大会で活躍した鎮目英俊さん。高校時代から投手として活躍し、大学でも活躍。現在は、茨城県立日立一高の教員として勤務中。

茨城県立日立一高

「甲子園初出場エース」として、1985年の夏の甲子園大会で活躍した鎮目英俊さん。高校時代から投手として活躍し、大学でも活躍。現在は、茨城県立日立一高の教員として勤務中。

ぐるっと首都圏

母校をたずねる

夢へ背中を押してくれた

東京交響楽団首席オーボエ奏者 荒木奏美さん 2011年度卒



茨城県立日立一高

「東京交響楽団首席オーボエ奏者」として活躍する荒木奏美さん。高校時代からオーボエを演奏し、大学でも活躍。現在は、東京交響楽団の首席オーボエ奏者として活躍中。

茨城県立日立一高

「東京交響楽団首席オーボエ奏者」として活躍する荒木奏美さん。高校時代からオーボエを演奏し、大学でも活躍。現在は、東京交響楽団の首席オーボエ奏者として活躍中。

威風堂々「白聖の殿堂」



「威風堂々」として知られる「白聖の殿堂」。茨城県立日立一高の校舎として、その雄大な姿を誇ります。

茨城県立日立一高

「威風堂々」として知られる「白聖の殿堂」。茨城県立日立一高の校舎として、その雄大な姿を誇ります。

毎日新聞 2018年8月15日(水)号

ぐるっと首都圏

母校をたずねる

夢中になる大切さ学ぶ

ラグビー元日本代表 吉野俊郎さん 1978年度卒



茨城県立日立一高

「ラグビー元日本代表」として活躍する吉野俊郎さん。高校時代からラグビーをプレーし、大学でも活躍。現在は、ラグビー界で活躍中。

茨城県立日立一高

「ラグビー元日本代表」として活躍する吉野俊郎さん。高校時代からラグビーをプレーし、大学でも活躍。現在は、ラグビー界で活躍中。

ラグビー部 連勝街道走り抜け



「ラグビー元日本代表」として活躍する吉野俊郎さん。高校時代からラグビーをプレーし、大学でも活躍。現在は、ラグビー界で活躍中。

茨城県立日立一高

「ラグビー元日本代表」として活躍する吉野俊郎さん。高校時代からラグビーをプレーし、大学でも活躍。現在は、ラグビー界で活躍中。

ぐるっと首都圏

母校をたずねる

おもてなし 部活に原点

銀座パードランド店主 和田利弘さん 1975年度卒



茨城県立日立一高

「銀座パードランド店主」として活躍する和田利弘さん。高校時代からラグビーをプレーし、大学でも活躍。現在は、銀座パードランドの店主として活躍中。

茨城県立日立一高

「銀座パードランド店主」として活躍する和田利弘さん。高校時代からラグビーをプレーし、大学でも活躍。現在は、銀座パードランドの店主として活躍中。

進学率86% 部活も成果



「進学率86% 部活も成果」として知られる茨城県立日立一高。その高い進学率と活躍する部活が、多くの卒業生を輩出しています。

茨城県立日立一高

「進学率86% 部活も成果」として知られる茨城県立日立一高。その高い進学率と活躍する部活が、多くの卒業生を輩出しています。

毎日新聞 2018年8月22日(水)号

雪印メグミルク
小岩井牛乳宅配センター
宅配センターテスモ日立店

〒317-0072 日立市舟町2-18-7
TEL 0294-21-3302 FAX 0294-23-2641

代表 小野 裕二(昭和49年卒)

フラ&タヒチアンダンススタジオ運営
ショーイベント企画構成ダンサー派遣
ハワイ関連コンサルタント業務

ブメハナ・フラ&タヒチアンダンススタジオ

代表取締役 小又 千賀子(昭和48年卒)
〒316-0004 日立市東多賀町5-10-5
TEL.0294-33-1531
Cell 090-1060-8328

PCでもスマホでもFMひたちちが聴けます！
ListenRadio

インターネットで「リスラジ」と検索♪リスラジ

FMひたちち

〒317-0065 日立市船橋1-9-16-202
FAX-0294-33-6788

取締役会長 根名 敏史(昭和48年卒)

お申し込みに関するお問い合わせはこちら

TEL.0294-33-5689
Mail:822@hfm.or.jp HP:http://www.hfm.or.jp/

技術オンリーでない価格の提供
株式会社 SAY コンピュータ

http://www.saycom.jp

代表取締役社長 志賀 利行(昭和55年卒)

本社
〒312-0062 茨城県ひたちなか市舟町1-18-11
(JR常磐線「舟町」駅下車、徒歩約1分)
TEL 029-202-3006 FAX 029-202-3009

常務取締役
〒101-0044 東京都千代田区東船場2-4-8 オイスタービル5F
(JR有明線「有明」駅下車、徒歩約3分)
TEL/FAX 02-5977-9277

株式会社 清水石材工業

代表 清水 正雄(昭和55年卒)

☎ (029) 285-3300(代)
FAX (029) 285-3317
☎ 0120-853301

東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社

超保険

有限会社 かみね保険事務所

〒317-0055 茨城県日立市富岡町3-9-2
TEL.0294-21-1390 FAX.0294-21-1391
E-mail kamine@kamine-h.jp

毎日新聞 2018年8月29日(水)号

部活動 OB 会活動報告

吹奏楽部 OB 会

会長 武藤 隆之 (昭和 48 年卒)

私が吹奏楽部に入部したのは昭和 45 年になります。部員も 30 名ほどだったでしょう。以前から活動はしていたようですが、野球部の応援が中心だったようです。

この年、初めて吹奏楽コンクールに出場することになりました。県大会止まりの部門で、結果は 1 位か 2 位だったと思います。これが日立一高吹奏楽部の初コンクールでした。3 年生の時に金賞を受賞し県代表となって、栃木県の足利での関東大会に出場、優秀賞を頂きました。

私の高校 3 年間は指導していただく先生が居らず、茨城大学吹奏楽部で活動していた先輩に指導をしていただきました。その 2 年後、牧野英一先生が赴任してきてからが県内屈指の吹奏楽部として本格的な活動の始まりとなります。

現在の日立一高吹奏楽部は、吹奏楽部史上初めての OB 顧問である、4 代目助川先生の指導のもと、中学校、高校と両部門での輝かしい活動をしています。OB としては後輩たちの活躍は非常に嬉しい限りです。

OB 会の発足は平成 3 年 1 月 2 日、現役部員の支援、OB 間の懇親を目的に正式に発足しました。

活動は正月 2 日の吹き初めに始まり、春合宿、定期演奏会、吹奏楽コンクールそれぞれへの支援等です。

また、不定期ではありますが、OB で組織する「白亜ウィンドオーケストラ」による演奏会も開催しております。音楽をするとき年齢など関係ありません。このような演奏会で親子ほどの年の差のある後輩たちと一緒に演奏できるということが、どんなに幸せなことか。

OB も優に 500 名を超え、中には東京のプロオーケストラ、吹奏楽団において活躍している者、フリーの奏者として、あるいは県内外で指導者、演奏者として活躍している OB がたくさんおります。いくつになっても楽器が離せない音楽バカと言うのでしょうか。これからも OB 相互の親睦と、現役部員の支援を続けて参ります。

部活動OB会活動を行っているみなさまへ

会報「白亜」では、運動部・文化部のOB会の活動状況を毎号掲載していく予定です。各OB会の活発な活動をより広く同窓生に伝えていきたいと思っておりますので、ぜひ投稿をお願いいたします。

必要事項

- ・タイトル
- ・原稿執筆者の名前と卒年
- ・活動報告 (400文字程度)
- ・写真 (1~2枚程度)

※紙面の都合によりすべて使用できない可能性もあります。ご了承ください。

投稿先

〒317-0063 茨城県日立市若葉町3-15-1
日立第一高校内 日立一高同窓会白亜会 宛
(メール: info@hitachi-hakua.jp)

締切: 2020年3月8日(日) 必着



Facebook : 「白亜ウィンドオーケストラ」



ソフトテニス部 OB 会

会長 永井 良一 (昭和 45 年卒)

昨年度は 6 年ぶりに男子個人戦で 1 ペアが関東大会に出場する成績を残し、古豪復活の兆しが見えました。その勢いに拍車を掛けるが如く今年度は 45 年ぶりに茨城国体が開催されます。

ソフトテニス競技は北茨城市で行われ、その競技の陣頭指揮を、北茨城市国体推進課長としてソフトテニス部 OB の酒井充夫氏(平成 4 年卒)が執ることになりました。

このように OB がその大会の運営を担うことは光栄であります。責任も重大です。OB 会は国体が成功で終わるよう陰ながら応援していく所存です。

また OB 会では、現役生の技術向上、人間力向上を目指し、毎年 3 月に県内外の高校生を招待し「白亜杯」を開催しております。この大会も新年度にむけて目標が見えることでは現役生にとって大きな意味を持つ大会と言えます。

このように OB 会は現役生の力を最大に発揮できるよう下支えを今年度もしっかりと行けるよう努力して参ります。



何と云ってもソフトテニスは年齢を超えて楽しめるスポーツです。現役と OB、毎年恒例の初打ち会をはじめとし、これからも交流を深めてまいりましょう。

又、在校生及び卒業生の県内外大会の成績・及び近況等をソフトテニス OB 会が発行している会報や SNS でもご覧いただけますので、どうぞご利用ください。

ラグビー部 OB 会

会長 木下 俊雄 (昭和 55 年卒)



ラグビー部 OB 会では、毎年 1 月 3 日に「蹴り初め」を開催し、OB・現役・保護者の交流促進に努めています。

以前は、OB 対 現役の試合を行っていましたが、近年新人戦の日程が繰り上がり、数日後に公式戦が控えているため試合は行わず、代わりにディフェンスをつけた実戦形式の練習で胸を貸し、大会に向けた調整をサポートしています。

(父母会の皆さんにも、早朝から豚汁作りなどで御支援をいただいています。)

今年の「蹴り初め」にも、総勢約 130 人が参加し、現役の練習が一段落した後は、OB 同士で白熱した試合を行うなど親交を深めました。



また、OB 会は、部の未来を担う附属中ラグビー部員の指導にも力を入れています。

年間を通した運営費の支援や備品等の現物補助に加えて、週末の練習時には常時 3~4 人の OB(保護者を含む)が参加し、基本的なスキルの指導やコンタクト練習の台となって育成に努めています。

その結果、附属中は 4 年連続して関東大会出場を継続中です。(うち 3 回は清真学園との合同チーム)

硬式野球部 OB 会

会長 鈴木 信夫 (昭和 46 年卒)

日立一高硬式野球部 OB 会は毎年夏の全国高校野球選手権茨城大会が始まる前の週に総会を開催しています。

総会後に野球部の監督や部長を囲んで懇親会を開き、今年度の選手の状況や本大会の抱負などを聞き、激励する場となっております。

現在部員は、1 年生 13 人、2 年生 19 人、マネージャー 6 人で合計 38 名のチームであります。

昨年の秋季関東地区茨城県大会は、県北予選で小瀬を 8 対 0 で破り、県大会 2 回戦で優勝した常総学院に 5 対 1 のスコアで残念ながら負けてしまいました。

選手達は、この冬の厳しい練習の成果でチーム力がかなりアップし、春の県大会、そして夏の甲子園目指して日々練習しております。

OB 会では、再び甲子園への出場を願い、本会目的である本校野球部の発展・強化のため、さらなる人的・経済的な支援を強化して参ります。

またそのためにも OB 会員 600 名超の会員同志の交流と親睦をすすめて参ります。1 人でも多くの会員の方々が行事に参加して下さることを切に希望いたします。

ホームページ URL : <http://日立一高野球部ob会.com>

Twitter : @hitachi1_st_OB
Facebook : 「日立一高ソフトテニス部 OB 会」

日立第一高等学校同窓会限定プランのご案内

ご利用料金
お一人様 ¥6,000 → **¥5,500**
(サービス料込・消費税別)

■利用条件: 20名様以上 ■利用時間: 3時間
■飲み放題付き
※20名様以下でのご利用の場合別途料金が発生します

特典
・ゆったりご利用3時間・横断幕作成無料
・スクリーン、プロジェクター使用料無料

皆様様々なシーンをお手伝いいたします

ホテルテラスザスクエア日立
〒317-0073 茨城県日立市幸町1-20-3
TEL 0294-22-5531(代表)
URL <http://square-hitachi.jp>

茨城県知事許可(一般)第19682号

株式会社 **友總建設**

代表取締役 **鈴木英明**
(昭和40年度卒業)

〒319-1541 北茨城市磯原町磯原猪見塚1890-41
電話 0293-43-5553 FAX 0293-42-1987

社団法人 茨城県宅地建物取引業協会会員
茨城県知事免許(3)5968号

有限会社 **グイトク**

〒319-1541
茨城県北茨城市磯原町磯原3丁目53番地
事務所電話・FAX 0293(43)4332
代表取締役 (昭和40年度卒業)
大森廣幸
自宅電話・FAX 0293(42)1383
携帯 090-8436-2801

AD-SUPPORT

地元のお仕事は地元の人がサポートが

和 **田祐司**
(昭和51年度卒業)

AD **アド・サポート** ADVANCE SUPPORT

0120-42-7077

還暦記念同窓会を開催して

幹事 森 秀明 (昭和52年卒)

平成31年2月2日土曜日に、ホテル テラス ザ スクエア 日立において、先生4名を含めて85名の参加をいただき、学年同窓会を開催しました。

前は4年前でしたが、今回はやはり60歳の還暦に開催しようということで今回の企画になりました。

当日は、同窓会事務局より同窓会旗、卒業生を特集した新聞記事、白堊などをお借りし、また返信はがきを書いてもらった近況のコメントも拡大コピーし会場に掲示しました。

中でも現役の生徒さんの最近の合格大学リストでは有名な大学が多く、今の生徒さんたちの優秀さを改めて実感しているようでした。

皆さん懐かしい友との再会が楽しかったのか、2次会にも予定を越す参加者があり、会場の時間いっぱいまで会話が弾んでいました。

次の開催時期を尋ねたところ、切りよく5年後かという声があり、65歳前後に次の計画をしようと考えました。

見た目は変わっても、話せばすぐに18歳に戻れる不思議な時間を体験でき、幸せな一時を過ごせました。



同窓会開催をサポートします！

同学年での同窓会や、職域の卒業生の会など、日立一高同窓生が集う会の開催に向けて、白堊会事務局が皆様のサポートをいたします。

開催をご検討されている方はお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

サポート内容

- ・同窓会開催会場予約
- ・会報に掲載案内を掲載
- ・返信はがきを会報に同封
- ・同窓会出欠取りまとめ
- ・同窓会資料等の準備 (経費は実費)

お問い合わせ

〒317-0063 日立市若葉町3-15-1
日立第一高校内 日立一高同窓会白堊会 宛
(メール: info@hitachi-hakua.jp)

ホームカミングデー開催報告

白堊会事務局 吉成 美里 (平成24年卒)

平成30年6月9日、白堊祭の開催に合わせ、応接室をお借りし、日立一高ホームカミングデーを開催いたしました。

過去発行した同窓会報や、近年の卒業アルバムの展示のほか、「平成生まれの卒業生のいまとこれから。」をテーマに、異なる分野で活躍する20代の同窓生7名に協力いただき、現在の取り組んでいること、今後挑戦したいこと等を展示しました。



また、喫茶コーナーを設け、こちらも20代の同窓生が営む「ただいまコーヒー」のドリップコーヒーと、「パティスリーマシエリ」のマドレーヌを提供し、大変好評でした。

現役生や、将来日立一高に入学したいと考えている小中学生とご家族の方も立ち寄ってくださり、多世代の方でにぎわいました。

同窓生は、初めて会った方同士でも、やはり母校が同じとあれば話の共通点も多く、すぐに打ち解けて会話が弾む姿も見られ、とても嬉しかったです。

最後に、事務局初年度で至らない点も多かったのにも関わらず、展示や喫茶等の新しい企画を実施させていただいたことを感謝申し上げます。

また今回のように、同窓生同士の交流が広がっていくような、気軽に参加できる楽しい場づくりをしていきたいと思っております。



学年同窓会 開催のお知らせ

平成25年卒 学年同窓会

(平成24年度卒業生・今年25歳になるかた)

日時：令和元年 8月10日(土)

会場：ホテル テラス ザ スクエア 日立

※ 対象の方は、同封はがきにて出欠をお知らせください。

役職	氏名	卒年	郵便番号	住所
会長	井上 清	昭和39年	319-1222	日立市久慈町7-2-17
副会長	野口不二子	昭和37年	319-1541	北茨城市磯原町磯原73
	宇佐美泰男	昭和39年	319-1541	北茨城市磯原町磯原2-4
	鈴木 欣一	昭和41年	316-0015	日立市金沢町4-13-36
	中村 瑞人	昭和45年	312-0011	ひたちなか市中根4819-5
	青木 俊一	昭和49年	316-0034	日立市東成沢町3-7-7
	森 秀明	昭和52年	316-0006	日立市末広町2-1-25
監事	小野 勝久	昭和36年	316-0002	日立市桜川町3-4-17
	坂場 美泉	昭和55年	317-0071	日立市鹿島町1-11-11

役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年
常務理事	椎名 敦史	昭和48年	理事	岡部 光雄	昭和33年	理事	佐藤 弘	昭和51年
常任理事	橋本 恵二	昭和29年		小泉 隆紀	昭和33年		和田 祐司	昭和51年
	山本 忠安	昭和29年		高林 由幸	昭和36年		岡部 和彦	昭和51年
	森 秀男	昭和29年		松本 俊一	昭和36年		白石 国寛	昭和51年
	今橋 孝行	昭和31年		海野 透	昭和36年		大内 勇雄	昭和52年
	森嶋 宏	昭和34年		成田 壯太郎	昭和36年		岡部 英明	昭和52年
	森嶋 鎮一郎	昭和35年		三浦 政晴	昭和36年		前田 利勝	昭和52年
	永井 晃	昭和35年		川村 達雄	昭和37年		玉木 崇之	昭和53年
	沼田 明博	昭和36年		三代 弘美	昭和37年		征矢 裕	昭和53年
	佐藤 吉典	昭和38年		山崎 保雄	昭和37年		小貫 勝則	昭和54年
	松崎 武久	昭和38年		尾又 篤	昭和37年		清水 正建	昭和55年
	沼野 新弥	昭和40年		酒井 次男	昭和38年		村田 文彦	昭和55年
	舟橋 正隆	昭和41年		荒川 英雄	昭和39年		奥田 茂樹	昭和55年
	川崎 和典	昭和41年		櫻村 寿道	昭和39年		山形 勝	昭和56年
	山名 康友	昭和44年		樋口 一男	昭和39年		小林 毅	昭和56年
	結城 秀郎	昭和44年		高岡 洋	昭和40年		三森 祐敦	昭和57年
	大和田 茂	昭和45年		鈴木 宏文	昭和40年		松田 考史	昭和57年
	五来 敬一	昭和46年		石川 峻	昭和40年		川又 光久	昭和57年
	伊藤 智毅	昭和47年		畑中 孝	昭和40年		江間 辰雄	昭和57年
江尻 寿憲	昭和47年	大森 廣幸		昭和41年	三富 健史		昭和58年	
太田代 紀子	昭和47年	鈴木 起一	昭和41年	佐藤 貢一	昭和59年			
鹿志村 高道	昭和48年	丹 誠一郎	昭和41年	沼田 英治	昭和59年			
小又千賀子	昭和48年	沢山 洋二	昭和41年	大森 満	昭和59年			
秋山 啓市	昭和50年	志賀 秀之	昭和42年	内山 庄栄	昭和59年			
征矢 亘	昭和51年	茅根 太一	昭和42年	大高 文昭	昭和60年			
白土 和彦	昭和52年	三沢 俊介	昭和42年	酒井 雄一	昭和61年			
村田 章	昭和54年	橋 政一	昭和42年	山本 晃裕	昭和62年			
理事	直井 潔	昭和19年	野沢 孝雪	昭和43年	高橋 学	昭和63年		
	松田 久長	昭和22年	大金 博	昭和43年	本田 浩一	平成3年		
	田崎 博	昭和28年	前野 房三	昭和43年	鳩 明美	平成4年		
	佐藤 義夫	昭和28年	村山 功	昭和43年	大窪 玲生	平成5年		
	山形 昭英	昭和28年	鈴木 茂美	昭和44年	片岡 邦夫	平成6年		
	荒川 俊男	昭和29年	川口 雅志	昭和45年				
	石川 元之	昭和29年	照沼 昇	昭和46年				
	中根 教文	昭和29年	駒木根啓美	昭和47年				
	松本 定信	昭和29年	嶋崎 順一	昭和48年				
	茅根 一弥	昭和30年	山縣 茂嘉	昭和48年				
	根本 経政	昭和30年	山名 玲子	昭和48年				
	山縣 勝雄	昭和30年	小野 幸一	昭和48年				
	茅根 茂彦	昭和30年	大津 政美	昭和49年				
	緑川 智	昭和31年	鈴木 浩一	昭和49年				
石 平光	昭和33年	高星 秀穂	昭和49年					

平成31年4月現在	
役員等	10名
常任理事	26名
理事	89名
計	125名

本会は、役員・常任理事・理事によって、本会の目的達成のため総会で決定した事業を取組んでおります。組織的に進めていくためには、職域・地域・女性会各支部に加えて、卒業年会員同士の連帯・連携が重要となります。現在では、全ての年代に理事がいるわけではありません。つきましては、事務局から各卒業年会員に代表である理事の選出をお願いをさせていただきますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

	氏名	卒年	郵便番号	住所	電話番号
常北	中根 教文	昭和29年	319-1721	北茨城市関本町関本1157	0293-46-1722
磯原	大森 廣幸	昭和41年	319-1541	北茨城市磯原町磯原3-52	0293-42-1383
高萩	沼野 新弥	昭和40年	318-0021	高萩市安良川693	0293-22-4895
豊浦・日高	森嶋 鎮一郎	昭和35年	319-1411	日立市川尻町1-17-7	0294-43-5757
日立	椎名 敦史	昭和48年	317-0065	日立市助川町1-4-24名和ハイツ105	0294-23-1237
多賀	橘 政一	昭和42年	316-0013	日立市千石町3-17-5	0294-35-3090
ひたちなか	清水 正建	昭和55年	312-0002	ひたちなか市高野1210	029-285-3300
笠間	畑中 孝	昭和40年	309-1721	笠間市橋爪789-4	0296-77-4170
県央	森嶋 宏	昭和34年	311-1134	水戸市百合が丘9-77	029-240-0017
東海	鈴木 宏文	昭和40年	319-1101	那珂郡東海村石神外宿1587	029-282-1588
東京	荒川 英雄	昭和39年	152-0023	東京都目黒区八雲5-15-17	03-3718-4527
日立市役所	岡部 和彦	昭和51年	319-1233	日立市神田町920	0294-52-6283
日鉦	佐藤 貢一	昭和59年	317-0056	日立市白銀町1-1-2 日鉦金属(株)精鋼課	0294-23-7289
旧多賀工場	川又 光久	昭和57年	313-0048	常陸太田市藤田町1052-1	0294-21-4420
国分	江間 辰雄	昭和57年	316-0023	日立市東大沼町2-18-4	-
日立ハイテク那珂	小貫 勝則	昭和54年	312-8504	ひたちなか市市毛882 (株)日立ハイテクノロジーズ 評価研究開発部	029-276-9865
日立オートモティブシステムズ	奥田 茂樹	昭和55年	310-0913	水戸市見川町2563-416	-
県警	三森 祐敦	昭和57年	310-0842	水戸市笠原978-6茨城県警本部 会計課今橋博宣様扱い	029-301-0110
大みか事業所	小林 毅	昭和56年	319-1293	日立市大みか町5-2-1 (株)日立製作所大みか事業所	0294-53-1111
女性会 (休止中)日立ライフ	野口不二子	昭和37年	319-1541	北茨城市磯原町磯原73	0293-42-1891

平成29年度の
協賛金寄付状況

今年度も、賛同者は、目標1,000名以上としました。
同窓会報「白聖」の配布数は、20,342名とし、賛同していただいた人数は、574名でした。但し、住所不明のため返送郵便数は、360名でした。

従って、賛同率としては、2.8%でした。総金額としては、2,389,000円であり、1名あたりは、4,162円でした。
賛同者は、目標に達しませんでした。総金額としては1名あたりの目標協賛金が2,000円より多かったため、昨年より増加することができました。

今年度も、同窓会会報「白聖」を会員全員に配布し、内容をより充実させ、同窓会の動向だけでなく、在校生の活躍などを多く取り上げ、会員の皆様に現在の動向をご理解いただき、会報協賛金にご賛同いただけたら嬉しく思います。ご協力お願い申し上げます。

協賛金納入方法については裏面20ページをご確認ください

	科目	29年度決算	30年度予算
収入の部	繰越金	1,595,504	1,685,675
	会費	2,571,200	2,592,000
	特別会費	1,040,000	1,350,000
	購読協賛金 他	2,904,611	2,949,325
	合計	8,111,315	8,577,000
支出の部	総会費	12,680	70,000
	会議費	0	10,000
	事務費	1,453,686	1,854,000
	旅費	7,440	20,000
	会報制作発送費	1,863,878	2,200,000
	支部交際費	51,000	50,000
	慶弔費	0	50,000
	母校助成費	3,025,754	2,950,000
	白聖祭援助費	450,000	0
	体育祭	0	150,000
	卒業記念品費	37,754	50,000
	部活後援費	238,000	450,000
	国際交流派遣費	1,300,000	1,300,000
	周年行事積立金	1,000,000	1,000,000
	予備費	11,202	1,373,000
	合計	6,425,640	8,577,000
	特別会計 周年行事積立金	2,409,827 円	(平成30年10月1日現在)

白聖会 事務局日誌

- ◇平成30年度理事会・総会・懇親会
理事会・総会出席者：52名(幹事37名、一般15名)
平成30年10月28日(日) ホテル天地閣 会費8千円
- ◇「白聖82号」発行(平成30年5月15日)
- ◇支部活動(平成30年4月~平成31年3月)
ひたちなか支部 平成30年4月14日(土) ワークプラザ勝田
女性会支部 平成30年6月2日(土) 天地閣
日立支部 平成30年5月8日(火) 助川交流センター
東京同窓会支部 平成30年6月30日(土) 大手町サンケイプラザ
常北・磯原支部 平成30年7月22日(日) 五浦観光ホテル大観荘
多賀支部 平成30年8月25日(土) 中日軒
豊浦・日高支部 平成30年9月6日(木) 日立金属日高クラブ
県庁日立一高卒業生の集い
平成30年9月27日(木) テラスザガーデン水戸
日立市役所支部 平成31年2月5日(火) シビックセンター
- ◇支部長交代のお知らせ(敬称略)
多賀支部 井上完夫(昭和42年卒) から 橘政一(昭和42年卒)
国分支部 芝田崇徳(昭和59年卒) から 江間辰雄(昭和57年卒)
東海支部(新発足) 鈴木宏文(昭和40年卒)
県央支部 川崎和典(昭和41年卒) から 森嶋宏(昭和34年卒)
笠間支部 和田尚武(昭和35年卒) から 畑中孝(昭和40年卒)
- ◇幹事会(常任理事会、理事会含む)
・平成30年5月19日(土) 午後5時日立一高白聖会館食堂
予算執行状況、会報白聖82号発行、100周年に向けて
・平成30年6月9日(土) 午前10時日立一高応接室
白聖祭、ホームカミングデー
・平成30年9月25日(火) 午後5時日立一高応接室
平成30年度決算・平成31年度予算報告・100周年記念事業委員選考
・平成30年10月5日(金) 午後2時日立一高白聖会館食堂
会計監査
・平成30年10月13日(土) 午後5時日立一高白聖会館食堂
常任理事会 平成30年度決算・平成31年度予算報告
・平成30年10月28日(日) 午後3時
平成30年度理事会・総会・懇親会
・平成31年2月8日(金) 午後5時日立一高白聖会館食堂
平成30年度活動計画、会報誌作成状況
・同窓会入会式(2/28)、卒業式(3/1)、入学式(4/8)
・平成31年4月8日(月) 午前10時日立一高応接室
会報誌内容審議
- ◇その他報告
・昭和52年卒 学年同窓会
平成31年2月2日(土) テラスザスクエア日立
・平成25年卒 学年同窓会開催予定
平成31年8月10日(土) テラスザスクエア日立

物故者

平成31年4月までに判明した方を掲載しました。尚、敬称は略します。

宮腰 得平	昭和12年	大森 晴司	昭和22年	羽田 洋	昭和30年	齊藤 勝一	昭和38年
北見篤四郎	昭和13年	萩沼 達央	昭和23年	小松 鉄雄	昭和30年	西田 英俊	昭和38年
小林 録郎	昭和13年	越智 博信	昭和23年	北條 正徳	昭和30年	富永 征夫	昭和39年
大館 泰	昭和13年	滑川 雄弘	昭和24年	山内 一彦	昭和30年	江橋 力男	昭和39年
櫻村 正久	昭和14年	小林 八郎	昭和24年	田中 英明	昭和30年	横瀬 裕	昭和39年
星 果	昭和16年	金澤 正博	昭和24年	三橋 潔浩	昭和31年	本田 卓次	昭和39年
安瀬 和夫	昭和17年	関 正一	昭和25年	石川 弘道	昭和31年	井上 亮夫	昭和42年
照山 良樹	昭和17年	石川 安男	昭和25年	葛西 利男	昭和31年	鬼澤 進	昭和43年
島山 忠	昭和18年	斎藤 治男	昭和26年	長谷川国威	昭和32年	根本 和敏	昭和44年
大塚 弘	昭和19年	白岩 政夫	昭和26年	大和田潤穂	昭和33年	吉田 和子	昭和44年
山縣 孝道	昭和19年	宇野 利男	昭和26年	田鍋 博嗣	昭和33年	菅原 久雄	昭和44年
矢島 光明	昭和20年	米澤 潤	昭和26年	石川 武	昭和33年	泉 敏男	昭和45年
滑川 信	昭和20年	松澤 勝海	昭和26年	石井 義啓	昭和33年	人見 博人	昭和45年
滑川 久信	昭和20年	大越 勝一	昭和27年	橋松 栄	昭和34年	川島 久	昭和47年
堀口三男	昭和20年	松岡 昭徳	昭和27年	菊池 忠男	昭和34年	吉田 稔	昭和49年
関 節夫	昭和20年	佐藤 宣雄	昭和28年	川上 輝明	昭和34年	川島 定男	昭和49年
杉田 淑昭	昭和20年	大和田武義	昭和28年	野口 政紀	昭和34年	櫻村 泰司	昭和51年
茂又 成徳	昭和20年	菅谷 晋	昭和28年	関根 義治	昭和34年	安藤 範之	昭和53年
柴田 昭	昭和20年	鈴木 義男	昭和28年	真仲 瑞祥	昭和35年	佐藤 正義	昭和55年
北山 健一	昭和20年	宇佐美明雄	昭和28年	住吉 利	昭和35年	川崎 保	昭和59年
木村 照	昭和20年	大貫 勲	昭和29年	佐藤 和夫	昭和36年	佐藤 好和	平成6年
青山 忠克	昭和21年	坂本 正史	昭和29年	石井 恵子	昭和36年	仙北屋正一	旧職員
沢橋 敬美	昭和21年	五十嵐徳江	昭和29年	反町 好男	昭和37年		
奥田 稔	昭和21年	鈴木 健明	昭和29年	齊藤 保之	昭和37年		
滝 光雄	昭和21年	小貫 雅史	昭和29年	吉村 洋	昭和37年		

会報「白聖」には、理事・常任理事の物故者だけでなく、会員の物故者も掲載してまいりますので
職域・地域・女性会支部 または 本部事務局 にご連絡をお願いいたします。

今年の活動予定

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。
同窓生との交流の輪を広げていきましょう。

平成25年卒 学年同窓会

(平成24年度卒業生・今年25歳になるかた)

日時： 令和元年 8月10日(土) 13:00～(受付12:00～)
会場： ホテル テラス ザ スクエア 日立 日立市幸町1-20-3
会費： 6,500円(予定)
申込： 同封の返信用ハガキに出欠を記入し、ポストへ投函してください。

令和元年度 白壁会 総会・懇親会

日時： 令和元年 10月26日(土) 総会 15:00～
懇親会 16:00～
会場： ホテル天地閣 日立市旭町2-6-13 TEL: 0294-22-0188
会費： 8,000円(当日徴収)
申込： 同封の払込取扱票の「全体同窓会総会」「同窓会懇親会」の「参加」に○を付けてください。

購読協賛金 納入のお願い

日立一高同窓会白壁会は、2017年から、本誌会報「白壁」の形態を変え、発行部数を約20,000部に増刷し、住所の判明している卒業生全員に配布できるようにしました。それに伴い発送コストが発生いたしますので、購読協賛金という形でご負担をお願いいたします(1口2,000円からです。何口でも構いません)。

また、現役世代への支援(国際交流派遣費用や、部活・行事の後援など)も引き続き続けて参りたいと思いますので、ぜひみなさまのご協賛をお願いいたします。

これからも同窓会白壁会では、母校の情報の発信を続けてまいりますので、みなさまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

編集後記

日立一高同窓会白壁会は「事務局の確立」「在校生への支援強化」を2大テーマと取り組んでいます。そのための最強最大のツールとしての「広報・白壁」は、同窓会の動向、在校生の活躍、支部だより運動部OB会報告等、具体的に果たす役割は大きいと考えています。白壁会を活性化するための情報発信、学年同窓会の開催による卒業年の結束と連帯が重要であり、同窓会事務局は、卒業年同窓会開催の支援や、白壁祭でのホームカミングデーの開催など、体制強化を進めてまいりますのでご支援とご協力をお願いいたします。